

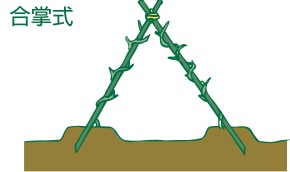
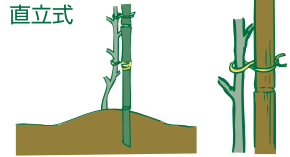
野菜栽培の基礎知識



●栽培

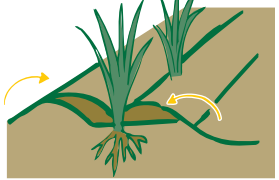
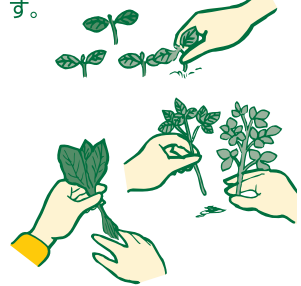
①支柱

キュウリ、つるありインゲン、トマト、ナス、ピーマンなどのつる性のものや背が高くなるものには支柱を立ててやりましょう。ナスは直立式、トマトやキュウリ、つるありインゲンなどは合掌式の支柱を立てます。



②間引き

野菜に限らず実物、葉物の花木等は間引きが必要です。間引かないと株が大きくなり、害虫の被害も多くなります。本葉が出る前に、徒長したものや密生したところを間引きます。芽かきの場合は残す方の芽を指で押さえて、悪い方を引き抜きます。



③中耕

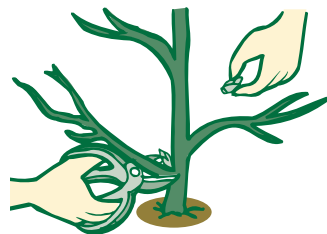
株の周りの土を軽く掘り起こし、中の土と上の土を入れ替えることで、土の中に酸素を入れ、追肥を土に混ぜたりすることです。根が成長し、雑草の発生を押さえます。

④除草

雑草がまだ小さいうちに根から引き抜くといったこまめな管理が必要です。家庭菜園ではできるだけ除草剤は使わないようにしたいものです。

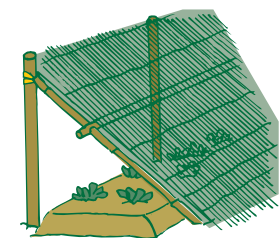
⑤整枝・草かき

余分なつるや枝を取り除くことを整枝、余分な芽をつみとることを芽かきとって、姿良く、いい野菜を実らせるために必要なことで、種類や栽培方法、菜園の広さなどによってどうするか違ってきます。



⑥防寒・防風

寒さや直射日光、風から野菜を守るために行う管理で、ビニールハウスやよしず、寒冷紗、敷きわら等で行います。特に北風(ネギは寒さに強いので、必要ありません)や夏の直射日光から守ってやらないと、枯れてしまいます。



ここがポイント!

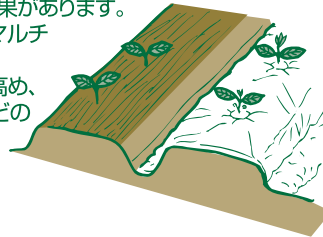
水やり

水やりはタネまきの前、苗を植える前、野菜の根が切れていて水分の吸収力が落ちているときや雨が長い間降らないで乾燥しているとき以外はあまり必要ありません。(ただしプランター栽培の場合は定期的が必要です)



敷わら

タネをまいて目が出るまでとか、苗を植えてからしばらくはわらか落ち葉を土の表面に敷くと、土が固くなるのを防いだり、葉の病気を防ぎ、水分を保たせるといった効果があります。現在では代わりにビニールのマルチが盛んに利用されています。マルチはさらに地中の温度を高め、光を反射させて害虫を防ぐなどの効用があります。



サービスのご案内



配達・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札、額の受注 スパキーブクリ

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111 (大代表)

©無断転載は禁止します

家庭園芸を楽しむ

自分でやってみよう!

セキチュー
How to D.I.Y

10



トマト、きゅうり、ピーマン、ナス……。家庭菜園で比較的にかんたん栽培できる野菜たち。ちょっと本格的には、ジャガイモ、大根、人参等々。たとえ形が悪くても、自分で作った野菜ならいとおしくなれます。庭がなくてもプランターでベランダ菜園を楽しむことだってできます。四季それぞれにいろいろな味……特に夏はいろいろな野菜が楽しめます。さあ手はじめに、何かひとつ作って、野菜づくりの楽しさにふれてみてください。

Do it Yourself & Save

家庭野菜栽培ごよみ

タネまき 育苗期 植えつけ 成育 収穫期

種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	ポイント
エダマメ				◎	◎		◎◎◎◎						●弱酸性。適湿に注意。
エンドウ					◎◎					◎			●弱酸性。適湿に注意。
キュウリ				◎		◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎				●弱酸性。乾燥に弱い。
シュンギク	◎◎							◎		◎◎◎		◎◎◎	●弱酸性。適湿に管理。
ソラマメ				◎◎◎◎						◎			●中酸性。土寄せして倒伏を防ぐ。
タマネギ					◎◎◎	◎◎◎			◎	◎	◎	◎	●弱酸性。乾燥に注意。
トマト				◎		◎◎◎							●弱酸性。過湿に弱い。
ナス				◎		◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎						●弱酸性。水分多く必要。
ニンジン	◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎	◎		◎◎◎		◎		◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎		●弱酸性。発芽時の水分に注意。
ネギ	◎◎						◎		◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎			●弱酸性。多肥性。適湿。
ハクサイ							◎		◎◎◎◎				●弱酸性。湿害に弱い。
パセリ	◎◎◎◎	◎	←	◎		◎◎◎◎			◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎			●弱酸性。冬霜よけ。
ピーマン				◎		◎◎◎◎◎◎	◎◎◎◎◎◎						●弱酸性。乾燥に弱い。
ホウレンソウ	◎◎◎◎			◎		◎◎			◎		◎◎◎◎◎◎		●酸性に極く弱い。乾燥に弱い。

野菜栽培の基礎知識

●土づくり

最初から野菜に適した土はありません。現在ある土を改良するか、野菜用に土を購入して、庭に入れるといいでしょう。

1 耕します。

鋤で掘り起こして、石ころやガラスのかけら、陶器のかけらなどをていねいに取り除きます。掘り起こした土は1週間ぐらい日光に当てておくと殺菌効果もあっていいでしょう。



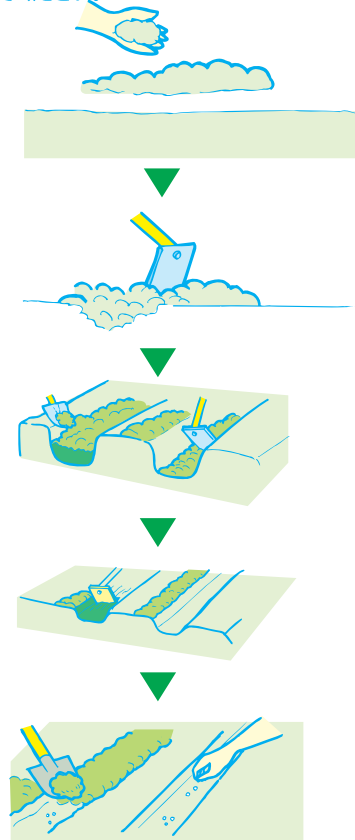
2 土質を調べます。

野菜を育てる土は作物によって、酸性に弱いものと強いものがあるので、酸度をリトマス試験紙で調べるといいでしょう。青色リトマス紙が変色したら酸性が強く、赤色リトマス紙が変色したらアルカリ性の強い土ということになります。酸度を中和させるには、石灰や草木灰をすぎこんで調節してください。



3 堆肥を施します。

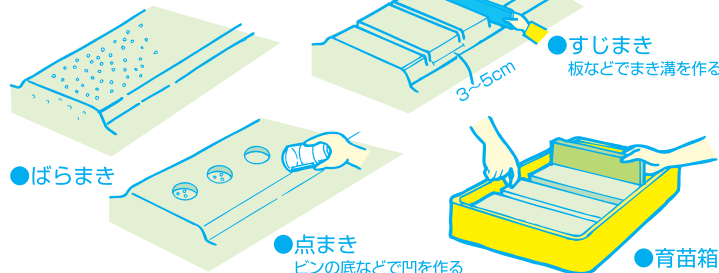
元肥として、堆肥を全面に施してください。



●種と苗

野菜にはタネを菜園に直接まくのに適している種類(コマツナ、ホウレンソウ、春菊、豆類、カブ、人参、大根等)と、苗床にまいて苗になったところを菜園に植え替える方がいいもの(トマト、ナス、キュウリ等)とがあります。

●タネのまき方



●苗の植え替え(定植)

1

ポリ鉢を手で軽くもみ鉢を下にして抜くとすっぽりと抜けます。



2

植え替えた後は株元の土を軽く押さえておきましょう。

